

令和5年事業計画書

社会福祉法人 至福の会

本部

特別養護老人ホーム むさしの園

ケアハウス むさしの園

むさしの園デイサービスセンター

サービス推進課

特別養護老人ホーム むさしの園わかば

むさしの園デイサービスセンター富士見

むさしの園在宅介護支援センター

むさしの園ホームヘルプサービス

生活困窮者に対する相談支援事業

ひまわり保育園

むさしの森保育園

目 次

本 部	P 1
組織図	P 2
特別養護老人ホーム むさしの園	P 3
ケアハウス むさしの園	P 4
むさしの園デイサービスセンター	P 5～6
サービス推進課	P 7
特別養護老人ホーム むさしの園わかば	P 8
むさしの園デイサービスセンター富士見	P 9～10
むさしの園在宅介護支援センター	P 11
むさしの園ホームヘルプサービス	P 12～13
社会貢献活動	P 14
生活困窮者に対する相談支援事業	P 15
ひまわり保育園	P 16
むさしの森保育園	P 17

令和5年度社会福祉法人至福の会事業計画

- 1 社会福祉法人至福の会の経営理念「クレド」を实践します
～関わる全ての人を幸福にすること～

We thank beautiful life

- 2 社会福祉法人至福の会のビジョン
「自分が心から利用したいサービスを提供していきます。」

3 事業計画

新型コロナウイルス感染症の影響により、当法人と地域とのつながりが様々な場面で難しい状況にあります。

社会福祉法人に社会貢献が求められる中、当法人としても地域の福祉の拠点として社会貢献事業に今年度から取り組んで参ります。

理事会・評議員会、監事会の開催については、下記の通りに進めて参ります。定款に定める決議事項及び重要な事項について必要な場合は、その都度理事会又は評議員会を開催します。

4 組織図

別紙「社会福祉法人 至福の会組織図」の体制になります。

5 経営方針について

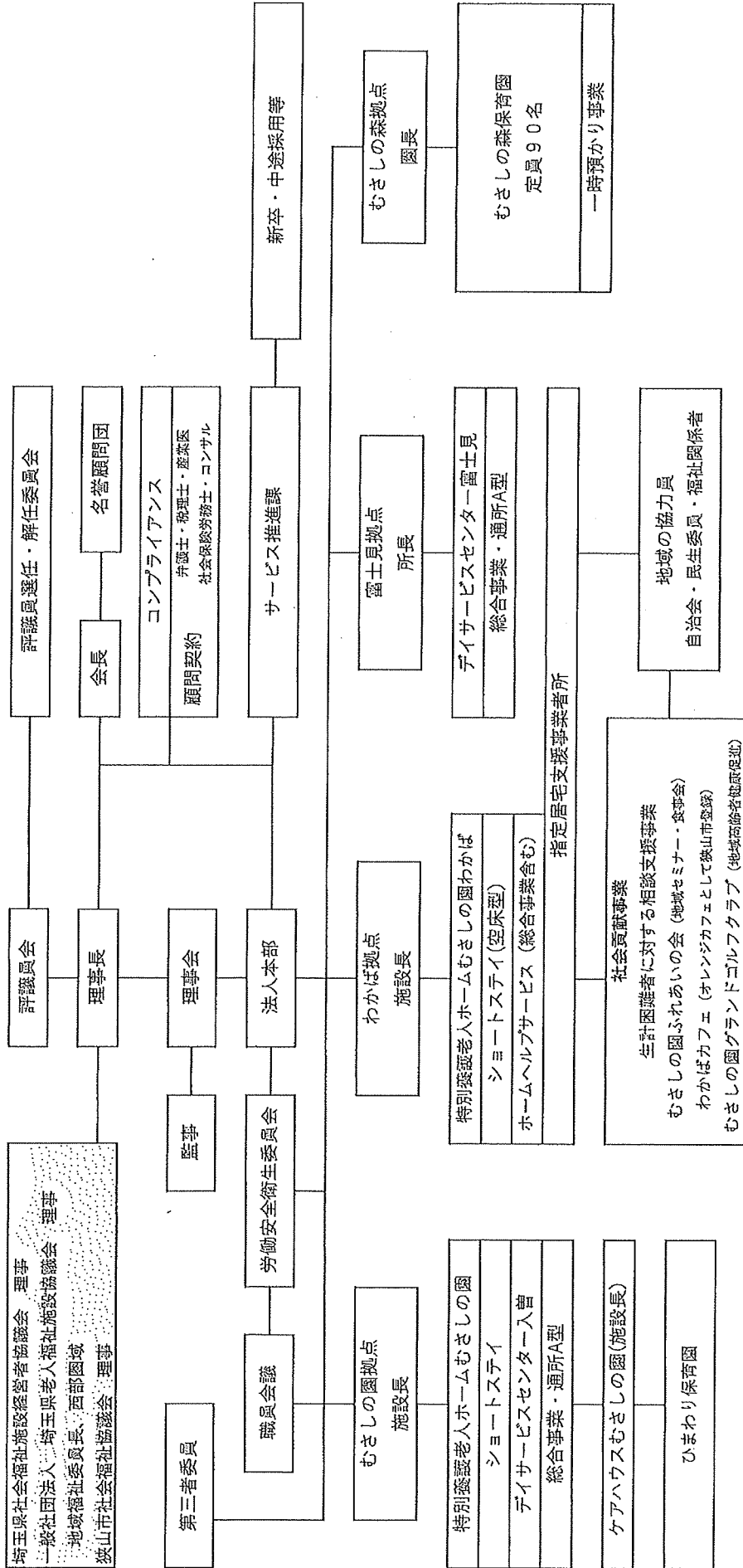
具体的な内容

- 彩の国セーフティネットワーク事業へ取り組みます。
- 地元若葉自治会とのお祭り再開へ取り組みます。
- 人材確保については、継続して取り組みます。
- 特定技能等の外国人採用に取り組みます。
- 社会貢献についても感染を考え、出来ることは今まで通り行う予定です。

理事会・監事会の予定

令和5年	6月	監事監査	午後10時～12時
		理事会	午後1時30分～3時30分
	10月	理事会	午後3時～4時
令和6年	3月	理事会	午後3時～4時
評議員会			
令和4年	6月	評議員会	午後3時～5時

社会福祉法人 至福の会 組織(令和4年4月1日～)



事業所目標	<p>【1】稼働率 特養/ショートステイ 平均98%/年</p> <p>【2】事故削減</p> <p>【3】Withコロナ イベントの開催</p> <p>【5】定着率向上（離職率10%未満）</p> <p>【5】職場環境の改善 設備の充実と活用</p>
-------	--

行動目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
【1】特養稼働	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98%
【1】特養新規申込	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
【1】ショート稼働	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	
【1】SS新規申込	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
内部監査			1						1				2
研修実施	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
【環境改善】													
設備導入+実地研修	→												

行動目標

<p>【稼働】</p> <p>1、退居後のブランクを2週間以内に短縮 待機者へのこまめな状況確認及び実態調査の先行実施</p> <p>【事故削減】</p> <p>1、前年対比10%削減</p> <p>2、事故事例検討におけるPDCAサイクルの徹底</p> <p>【定着率向上】</p> <p>1、新卒フォローアップ：1・3・6・12か月で面談及び研修を実施する。</p> <p>2、職員のキャリアアップ支援 研修、展示会等参加機会の提供</p> <p>3、職場環境整備：業務負担軽減にを目的とした設備への投資 ・機械浴導入 ・ICT化へ向けた設備の選定（令和5年度～6年度で実施）</p> <p>【職場環境の改善】</p> <p>1、機械浴の導入</p> <p>2、車いすの入替（令和5年度で3割の入替を想定）</p> <p>3、資格取得支援</p> <p>4、大規模修繕申請</p>
--

事業所目標	【1】稼働率 99% 【2】クラブ活動の定期開催 【3】定期行事の開催 【5】BCP計画の訓練の実施 【5】環境改善 経年劣化による居室設備の改善
-------	---

行動目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
【1】稼働	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99%
【1】新規申込	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
研修実施	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
【環境改善】													
感染症対策	→												

行動目標

<p>【稼働】</p> <p>1、安定した稼働を維持していますが、入居者の介護度も上がって来ていることから待機者の確保とこまめな状況確認を行う</p> <p>【クラブ活動の開催】</p> <p>コロナ禍で開催を縮小していましたが、活動を再開</p> <p>1、手芸倶楽部 保育園への手作りおもちゃ作成</p> <p>2、映画鑑賞クラブ</p> <p>3、Saunterクラブ リハビリロードを活用したお散歩</p> <p>【定期行事の開催】</p> <p>1月 新年会 2月 節分、ひな祭り 3月4月 お花見 5月6月避難訓練</p> <p>7月8月 納涼祭 9月 敬老会 10月 自治会祭り 11月BCP訓練 12月忘年会</p> <p>【BCP計画の訓練実施】</p> <p>作成したBCP計画に基づいた訓練の実施</p> <p>【環境改善】</p> <p>1、居室内の水漏れ、雨漏りの改善と定期点検の実施</p> <p>2、備品書類の整理見直しを実施。食堂、浴室等共用部分の衛生管理</p> <p>3、感染対策の徹底。入居者の健康観察、換気消毒の徹底継続</p>

事業所目標	<p>【1】稼働率 平均80%/年</p> <p>【2】クオリティーインプループメントに取り組む</p> <p>【3】不適切行為ゼロ（接遇マナーの向上）</p> <p>【4】感染症に対する知識・対応力のレベルアップ</p> <p>【5】事業継続計画（BCP）</p> <p>【6】定着率向上（離職率10%未満）</p>
-------	---

行動目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
【1】稼働	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	
【1】新規申込	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
【2～4】内部監査					1						1		2
【2～4】研修実施	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
【5】環境改善	1			1			1			1			4

行動目標

<p>【稼働】</p> <p>【1】稼働率平均80%ととして、月平均5件の契約を獲得していく為に月一回以上の訪問や電話連絡等行いご利用者様の近況を報告することで、居宅事業所、地域包括との連携を図る 各居宅事業所とのコミュニケーションを強化し新規利用に繋げていく</p> <p>【2～3】より高いサービスを提供する為に研修や会議を適宜行う ①接遇 ②介助スキル ③職場教育 ④施設内ルールの見直し ⑤実務者研修の継続</p> <p>【4】常に新規情報への関心を持つことで予防できるような体制作り</p> <p>【5】災害時でも有用なイベントを行う（芋煮・おしるこ等）</p> <p>【6】定期的な管理者による職員面談を行いフォローアップを行う</p> <p>【その他】</p> <p>1, 職場環境整備：働き方改革に合わせて職場環境や福利厚生を整える。</p> <p>2, 地域交流の再開に向けて感染症対策を行いながら、ボランティア等の受け入れを積極的に行っていく</p> <p>今年度は「より高いサービスを提供することによって多くの事故が未然に回避できる」と言う考え方で取り組みます。</p> <p>又コロナ禍が落ち着く事で、地域交流を含め至福の会のイメージアップに向けて、職員、利用者、ご家族だけでなく、介護に係るすべての人に優しさを伝えられるデイサービスを目指します。</p>
--

令和5年度 内部研修一覧

月	在宅部門 デイサービス	イーケアラボ	時間
4月	接遇マナー	<テーマ別> 接遇マナー 第4・5・7章 研修一覧6ページ	46分04秒
5月	新型コロナウイルス対策	<テーマ別> 新型コロナウイルス感染症予防対策 第1章 研修一覧1ページ	54分44秒
6月	チームワーク	<テーマ別> チームワーク 第1章 研修一覧6ページ	42分53秒
7月	倫理及び法令順守	<テーマ別> 倫理とは 研修一覧18ページ	49分24秒
8月	BCP 非常災害について①	<テーマ別> 非常災害時の対応に関する研修 第6・7章 研修一覧12ページ	34分16秒
9月	プライバシーの保護	<テーマ別> プライバシーとは何か、保護と実態 第1・2・3章 研修一覧19ページ	51分36分
10月	事故発生と再発防止	<テーマ別> 介護事故発生時の対応と再発防止 第2・3章 研修一覧19ページ	55分
11月	認知症ケア	<テーマ別> 認知症周辺状況 種類と対応 第4章 研修一覧3ページ	43分
12月	身体拘束防止	<テーマ別> 身体拘束とは何か 第1・2章 研修一覧17ページ	41分54秒
1月	法人理念研修		
2月	記録	<テーマ別> 記録 基本編 第2章 研修一覧14ページ	39分36秒
3月	介護予防	<テーマ別> 生活リハビリの基礎知識 第1章 研修一覧8ページ	56分34秒

部署目標	<p>【1】採用：採用ブランディングし、母集団形成をしていく。また採用管理システムを再構築し、毎年度分析できる基礎データの構築をする。 介護職：40人（内新卒6人）、保育：5人（内新卒2人）</p> <p>【2】人材定着支援：各部署からの情報をサイボウズ等を活用し共有・対応</p> <p>【3】離職防止：法人全体の離職率を10%未満（R4：15%前後の着地見込み）</p>
------	---

行動目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
学校訪問	5	5	5	10	10	10	5	5	5	0	0	0	60
合同説明会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
中途採用数	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	37
新卒採用数	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	1	0	8
年間計画	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
入職者面談	→												
既存職員面談	→												
人材定着支援	→												

行動目標

<p>【採用目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 学校訪問：新卒採用のため、定期的な訪問をし、特に短大・高校をターゲットにする。 合同説明会参加：埼玉県・ハローワーク・社協・労働局が主催する官公庁イベントは必須参加する。また有料で開催されるイベントも過去の実績を鑑みて、積極的に参加する。 法人ホームページ：常に最新情報を表示して求人媒体からのつなぎ閲覧に対して興味を引く内容にする。事業所のイベントなど求職者へ説明する内容の映像化を掲載など。 採用活動管理：学校訪問、説明会参加など行動を予実管理し効果が高いものを分析する。採用媒体の選定をするため、新しい媒体との打ち合わせを実施。 採用活動費用管理：採用にかかる費用を集計して予算管理をする。予算は前年度同様6,000,000円。 → 令和4年度 予算6,000,000円 実績 6,680,675円（HPリスティング・媒体・合説代など） 採用マーケティング：求職者のニーズ把握をする。地域性・年齢層・時事的な状況を分析し、介護保育だけでなく、そのほかの業界の求人状況も踏まえて採用手法を変えていく。 <p>【定着支援目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 新卒フォローアップ：1・3・6・12か月で面談及び研修を実施する。 中途入社職員対応：入職後に面談の機会を作り、内容をサイボウズ活用することで共有。 職場環境整備：職場環境や福利厚生を整える。（書類や制度の改定など） <p>【離職防止目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 職員面談：状況に応じて職員面談を実施して退職を未然に防ぐ。 施設長と情報共有：配置転換や離職理由から防止できる案はないか共有する。 <p>【その他】</p>
--

事業所目標	【1】年間平均稼働率 98%
	【2】ケアマニュアル及び具体的支援場面の浸透 (根拠に基づくケアの実践、ケアに対する価値観の統一)
	【3】個別ケア、認知症ケアのスキル向上
	【4】人財育成（意識改革と資質の向上）
	【5】職員定着率アップ（離職率 10%以下）

行動目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			平均
【1】稼働	99	98	98	99	99	98	97	98	96	96	98	99	98
【1】新規申込	4	4	5	5	4	4	4	3	3	5	3	4	4
【2,3】研修実施	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
【4】人財育成	→												

行動目標

<p>【年間平均稼働率 98%】</p> <p>1. 稼働を維持するため、月2回を目途に各事業所を訪問、連絡を密にして紹介件数月4件を達成する。</p> <p>2. 待機期間を少しでも短くするために実調済みの待機者を3名以上確保。ご家族に事前説明、速やかな入居を実施する。</p> <p>3. 空所期間を減少させるために、ショートステイとして活用をする。</p> <p>【ケアマニュアル及び具体的な支援場面の浸透】</p> <p>1. 根拠に基づくケアの実践するためにケアマニュアルを活用し、介護の価値観を統一する</p> <p>2. ケアマニュアル及び具体的な支援場面を基に、新入職員の指導を行うことを徹底する</p> <p>【個別ケア、認知症ケアのスキル向上】</p> <p>1. 24時間シートを活用、更新することにより、その方にあった生活を送られるようにする</p> <p>2. 外部研修、内部研修を通じて職員が認知症への理解を深め、ご入居者が落ち着いた生活を送れるようにする</p> <p>【人財育成（意識改革と資質向上）】</p> <p>1. 役職者の育成と、時期リーダー候補の育成。特に上長から介護技術のアップデートを意識し、時流に合わせたケアを追求する</p> <p>2. 資質の向上を目的とした研修を企画、また積極的に外部研修を取り入れる</p> <p>3. 職員一人ひとりの主体性を大切に、それぞれが主役になれる企画を立ち上げる</p> <p>【職員定着率アップ（離職率 10%以下）】</p> <p>1. 介護スキルの向上、やりがいの創設（役割作り）</p> <p>2. 職場環境改善（イベント等交流の場づくり、定期面談等）</p> <p>3. キャリアパスの明確化による個人の将来ビジョンを可視化する</p>

令和5年度 事業計画書

事業所名 むさしの園デイサービスセンター富士見

今年度の目標（チーム）

- ・利用者様の心身機能の維持
マシン機器を活用した運動と集団体操を中心に筋力低下を予防します。
- ・認知症ケア
多様な「脳トレプリント」「制作活動」「ゲームレク」「歌唱」「季節行事」等、認知症ケアに取り組みます。
- ・月の平均延べ人数 950人

人材定着の取り組み

- ・新人教育
業務マニュアルとチェックリストを活用し、経験豊富な職員を中心に、細やかな指導を実践します。
- ・チームワーク
コミュニケーションを大切にし、風通しの良い職場環境を整えます。
- ・離職率 10%未満を目指します。

行事

- 4月 お花見散歩 5月 青空体操
- 6月 運動会 7月 七夕まつり
- 8月 夏祭り 9月 敬老会
- 10月 ハロウィンイベント「仮装」
- 11月 回想法ライブラリー
- 12月 クリスマス会 ビンゴ大会
- 1月 お正月イベント「書初め」「初詣」
- 2月 節分ゲーム 3月 ひな祭りイベント

研修

- ・感染症予防対策としてオンラインでの研修を行います。
- ・研修では、「感染症対策」「認知症の理解」「高齢者虐待防止」等の知識の習得及び介護技術の向上を目指します。
- ・研修参加後は「研修受講報告書」を記入し、研修の振り返りを行います。

リスクマネジメント

- ・「ひやりはっと・事故報告書」の内容を多種職で検討し、全職員への周知を図り、再発予防に努めます。
- ・クレームが更なるクレームとならないよう真摯に対応し、内容の分析と職員への周知を図り、再発防止に努めます。
- ・「個人情報の取り扱いについて」の研修を実施し、情報漏洩防止を徹底します。

その他の活動

- ・プロジェクトチーム
介護職員と看護師が各チームに所属し、利用者様に喜ばれる質の高いサービスの提供を目指します。
- ・デイサービス会議
感染症予防対策のため、集合形式の会議は自粛し、会議録を一月一回回覧し、各チームの進捗、利用者様のケースカンファレンス等情報共有を行います。

令和5年度 内部研修一覧

月	在宅部門 デイサービス	イーケアラボ	時間
4月	接遇マナー	<テーマ別> 接遇マナー 第4・5・7章 研修一覧6ページ	46分04秒
5月	新型コロナウイルス対策	<テーマ別> 新型コロナウイルス感染症予防対策 第1章 研修一覧1ページ	54分44秒
6月	チームワーク	<テーマ別> チームワーク 第1章 研修一覧6ページ	42分53秒
7月	倫理及び法令順守	<テーマ別> 倫理とは 研修一覧18ページ	49分24秒
8月	BCP 非常災害について①	<テーマ別> 非常災害時の対応に関する研修 第6・7章 研修一覧12ページ	34分16秒
9月	プライバシーの保護	<テーマ別> プライバシーとは何か、保護と実態 第1・2・3章 研修一覧19ページ	51分36分
10月	事故発生と再発防止	<テーマ別> 介護事故発生時の対応と再発防止 第2・3章 研修一覧19ページ	55分
11月	認知症ケア	<テーマ別> 認知症周辺状況 種類と対応 第4章 研修一覧3ページ	43分
12月	身体拘束防止	<テーマ別> 身体拘束とは何か 第1・2章 研修一覧17ページ	41分54秒
1月	法人理念研修		
2月	記録	<テーマ別> 記録 基本編 第2章 研修一覧14ページ	39分36秒
3月	介護予防	<テーマ別> 生活リハビリの基礎知識 第1章 研修一覧8ページ	56分34秒

事業所目標	【1】 担当件数	月 205 件
	【2】 新規件数	年 50 件
	【3】 予防給付担当件数	月 20 件
	【4】 地域貢献活動	
	【5】 研修・会議	

行動目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			平均
【1】 担当件数	200	200	203	206	206	209	209	206	203	203	203	206	205
【2】 新規件数	4	5	5	5	4	5	4	4	3	3	4	5	4.2
【4】 わかばカフェ				1		1		1		1		1	
【5】 研修・会議	→												

行動目標

【担当件数】
1. 担当件数については、介護給付、予防給付合算で月 205 件以上を目標とする 2. 月次目標数値として常勤 38 件、週 5 非常勤 35 件、週 4 非常勤 32 件とする（計 213 件）
【新規件数】
1. 担当件数の目標数値を意識し、それぞれがバランスよく獲得できるようセンター内で情報共有を行う 2. 水野、入曽包括支援センターへの営業活動も 2 カ月 1 回のペースで実施する
【予防給付担当件数】
1. 予防給付に関しては、月合計 20 件を目安とし、できる限り偏りがないように受け入れる 2. 予防給付のケースについては、包括との情報共有を密に行い、進めていく
【地域貢献活動】
1. わかばカフェを 2 か月に 1 回のペースで再開する。飲食はなく講座などを計画する 2. ふれあいの会を 11 月頃に 1 回開催する。昼食はなしとし、半日での開催とする 3. 前年度実施した広報紙の発行は、年 1 回発行する
【研修・会議】
1. 外部研修へ参加し知識と技術を学ぶ。学んだ知識と技術を共有しスキルアップに活かす。 2. 内部研修へ参加し知識を深める。 3. 水野圏域会議、自立支援型地域ケア会議へ参加し地域課題の発見・地域づくりに努める。 4. 支援センター会議、ケースカンファレンスを実施し、情報を共有する。 5. 埼玉県老施協、介護保険サービス事業者協議会、コミュニティサロン協議会定例会へ参加する。

事業所目標	【1】 個別ケア・認知症ケアの技術の向上
	【2】 専門知識の習得
	【3】 状況判断・対応の向上
	【4】 チームケアの重視・他職種との連携
	【5】 総合事業生活援助型養成講座の開催（人財育成・人財確保）
	【6】 新規利用者の獲得

行動目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			平均
【1・2・3・4】 研修実施	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
【5】 講座開催（人財育成）	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1.5
【5】 講座開催（人財確保）	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0.5
【6】 月利用者数	50	52	53	55	55	57	57	58	58	59	59	60	56

行動目標

<p>【ヘルパー会議実施】</p> <p>1. 利用者様に対しての情報交換や情報共有の場を設けることで、サービス内容の確認や困っていることの相談ができ、同じ内容での援助が出来るようにします。</p> <p>2. 悩みを1人で抱えることなく、みんなで話し合える場の提供を行います。</p>
<p>【研修の実施】</p> <p>1. 専門的な知識の習得と技術の向上を図り、成長する努力を行います。</p> <p>2. 研修を通して、ヘルパーひとり一人の目標に向けてスキルアップを目指します。</p> <p>3. 事例検討などを行うことにより、状況判断や対応が出来るような研修を行います。</p>
<p>【チームケア・他職種連携】</p> <p>1. 一人の力でなんでも行うのではなく、みんなで力を合わせて最良のサービスの提供を行えるようにします。</p> <p>2. 他職種の方とも常に連携を図り、利用者様が安全に生活できるようにします。</p>
<p>【人財育成・人財確保】</p> <p>1. 狭山市指定事業・生活援助型訪問ヘルパー養成講座を定期的で開催することで、介護に興味を持ってもらえるきっかけ作りを行います。</p> <p>2. 受講された方をヘルパーとして採用できるようフォローアップしていきます。</p> <p>3. 実務者研修や介護福祉士などの資格取得を目指せるようにフォローアップを行い、後押しできる体制作りを行っていきます。</p> <p>4. ヘルパー全員が同じサービスの提供が行えるよう、介護技術の向上に向けた育成を行います。</p>
<p>【新規利用者の獲得】</p> <p>1. ヘルパーひとり一人がスキルアップを行うことで、どの利用者様にも対応できるようにします。</p> <p>2. 訪問できる空き時間を関係事業所に定期的に発信します。</p>

ヘルパー会議計画表

毎月第4金曜日(18:00~19:00)開催予定

月	内 容	月 日
4月	ケアカンファレンス 介護保険について(ヘルパーのやっていいこと悪いこと)	4/21
5月	ケアカンファレンス 感染症(コロナウイルス)	5/26
6月	ケアカンファレンス 熱中症・脱水について	6/23
7月	ケアカンファレンス 調理実習	7/28
8月	ケアカンファレンス 記録の必要性	8/25
9月	ケアカンファレンス 認知症について	9/22
10月	ケアカンファレンス 足浴(実習)	10/27
11月	ケアカンファレンス 緊急時の対応について	11/24
12月	ケアカンファレンス 感染症(インフルエンザ・ノロウイルス)	12/22
1月	ケアカンファレンス 高齢者虐待	1/26
2月	ケアカンファレンス 病気を学ぶ	2/16
3月	ケアカンファレンス 1年の振り返り	3/22

社会貢献活動

1、生活困窮者に対する相談支援事業

生活困窮者に対し、限度額 10 万円までの現物を支給。(食料品、公共料金など)

生活基盤の立て直しを目的として支援します。

2、フードバンク事業

規格外の品物や賞味期限が近い食品などを困っている方へ配布します。

3、グラウンドゴルフ事業

地域の高齢者を対象に法人の敷地に整備したグラウンドゴルフ場を低料金で開放し、いつまでも元気に過ごせるよう支援を行います。

4、ふれあいの会

1 1 月に、地域の高齢者を集め、福祉講座や介護予防運動を実施し、健康寿命の促進を支援します。

5、わかばカフェ

新型コロナが 5 類に変更後、2 ヶ月に 1 回のペースで再開します。第二火曜日の 14 時から軽度の認知症高齢者や認知症高齢者を抱えるご家族、地域の高齢者の集いの場を提供します。介護の専門家であるケアマネージャーが常駐し、介護の相談ごとにお答えします。

6、地元自治会祭りへ場所を提供

10 月に行われる地元自治会の祭りへ場所を提供します。また、ご入居者もお祭りに参加し雰囲気を楽しんでいただきます。

*新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑みて、計画を一部変更、延期または中止することがあります。

今年度の目標

- ・相談時には、担当者と支援の必要性を協議して開始します。
- ・相談開始から3ヶ月以内での終結を目標とします。
- ・狭山市内セーフティ事業所連絡会にて情報共有を行います。
- ・埼玉県社協への請求は当月内に完了するようにします。

担当相談員の体制

- ・相談体制は、支援センター、わかば事務職員の2名で行います。
- ・各所と連携を図り、本制度の適応かどうかを見極めて支援を行います。

支援方法について

- ・狭山市生活困窮者自立支援機関、狭山市役所トータルサポート等からの相談を受け、連携し自立支援を行います。おおむね3ヶ月で自立支援を行っていきます。
- ・市内フードバンク事業所と連携を図り、フードドライブの拠点施設として食糧支援を適宜行います。

人材育成について

- ・定期的に行われるあんしんセーフティ事業相談員研修や、ソーシャルワーク研修を受講します。
- ・支援する上で地域の現状を理解することや地域活動者との連携が必要になるため、地域の交流の場へ積極的に参加します。

目 標	<p>【1】入園児を7月までに12名（稼働率63%）を達成する。</p> <p>【2】保育の質の向上：キャリアパス研修を積極的に受講する。 内部研修の他、外部研修の積極的受講。</p> <p>【3】仕事の効率化、業務分担の振り分け</p>
-----	---

令和4年度の入園児目標

定期的	クラス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	1	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	3	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	7	7	8	12	12	12	12	12	12	12	12	12
稼働率	37%	37%	42%	63%	63%	63%	63%	63%	63%	63%	63%	63%	
一時預かり 利用可能数	12	12	11	7	7	7	7	7	7	7	7	7	

行動目標

【入園児目標】

- ・7月までに12名（稼働率63%）を達成する。
（処遇改善加算関係の計算の基礎となる園児数を増加していく必要のため）
- ・狭山、入間、所沢の子育て支援施設の他、役所への営業活動を行う。
- ・上記営業の他、従業員枠（採用と連携）の増加を図っていく。
- ・ひまわり保育園の特徴を再確認し、質を高めていく。

【保育の質の向上】

- ・キャリアパス研修は役職者だけではなく、社会保険加入している非常勤保育士にもできるだけ受講する機会を作り、内容を共有していく。（外出・オンラインなど）
- ・育成協会による企業主導型保育園の運営要綱にすぐに対応できるよう情報収集に力をいれ、適切に対応していく。
- ・異年齢保育の運営に対して日々研究し、最適な保育が行えるようチャレンジしていく。
- ・事故報告・ヒヤリハットを分析し、安全な保育を行えるよう運営を見直していく。

【仕事の効率化】

- ・経営資源（人、モノ、お金、時間）の効率化。適切な場所に適切な量、物を準備する。
- ・現行システムのチャイルドケアウェブの機能を使いこなし業務の効率化を実現する。
- ・退職者、新規入職者といった入れ替わりがあり、分担の見直しを図る。

部署目標	1. 稼働率年間平均103%（弾力運営含む） 2. 一時預かり事業の年間利用延べ人数を目標1500名とする 3. 地域貢献事業として園庭開放、室内解放イベントの定期開催の実施 4. 保育理念の再確認と自然保育の推進 5. 年間行事の見直し
------	---

通常保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	100%	100%	103%	103%	103%	104%	104%	104%	104%	104%	104%	104%	103%
利用目標数	90	90	93	93	93	94	94	94	94	94	94	94	93.1
内訳	0歳児	6	6	9	9	9	10	10	10	10	10	10	9.1
	1歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	2歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	幼児クラス	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
一時預かり事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用目標数	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	1500

【部署目標】

1. 年間平均稼働率103%

0歳児クラスは6人スタート。新卒が担任になるため2カ月間は6人で運営し、6月に3人追加の受け入れを行う。園児が園になれ、保育士もクラス運営が安定したら0歳児の10人受け入れを目指す。今年度は幼児クラスにて加配対象となる児童7名分を4月に申請する。

そのため、3歳児に1名、5歳児に2名加配職員が配置されている。

7名全員が新規で通った場合、加配対象となる子どもは9名となり、年間補助金額は8,940,000円となる予定である。

2. 一時預かり事業の年間利用延べ人数を目標1500名とする

年間利用延べ人数が1500人以上の場合、補助金額は4,680,000円となる。

物価上昇もあるため、保育料を200円増額、昼食代が50円増額を行い、一時預かり事業内での収支バランスの改善を行っていく。

3. 地域貢献事業として園庭開放、室内解放イベントの定期開催の実施

・専門リーダーが中心となって運営を行っていく。地域の方々に、保育園があることを知っていただき、子育てで困っていることがあれば相談になっていく。地域に子育てをしている人と参加者が交流し悩みのや、子育ての楽しみを共有できる場にしていく。

・園庭開放は夏の暑い時期8月を除いて毎週月、水、金に開催する。

また5月より2か月に1回、3階地域交流室にて地域の子育て世代の参加できるイベントを開催する。

4. 保育理念の再確認と自然保育の推進

・むさしの森保育園の保育理念をどのように保育に落とし込んでいくのかを意識しながら保育を行っていく。Do-capシートを変更し、具体的にどのように取り組んで行くのかを確認していく。保育について話し合う場を月に1回設け、主任が主体となって保育について考えを深めていく。

・むさしの森保育園の一番の売りである、自然を取り入れた保育を積極的に進めていく。

今年度から自然保育リーダーを配置し、森や畑を生かした保育の実践を行っていく。

5. 年間行事計画の見直し

春に実施していた幼児クラスの懇談会は、5月下旬の親子遠足内にて懇談を行うため廃止した。

10月は、乳児クラスの親子遠足を実施。クラス内の保護者の交流の場を増やします。

11月には、むさしの森保育園らしさを取り入れた行事を実施するため、自分たちが作った食べ物を調理して食べる体験ができる収穫祭を新たに企画します。

12月に実施していたお店屋さんごっこは、10月から行事が立て込み準備に時間がなくなってしまう為廃止します。